

薬物依存症者等サポート事業の 取組みについて ～事業の概要～



大阪市西成区保健福祉センター
保健福祉課

背景

- ◆平成25年から
「西成特区構想」
「あいりん地域を中心とした環境整備事業の取組み」
- ◆平成28年から
「西成区薬物依存症者等サポート事業」



目的

薬物のない生活を継続できるよう、
孤立防止・心身の健康保持等の支援、
回復施設・自助グループへの橋渡し、
正しい知識の普及啓発を推進することを目的とする
本事業の評価を行ったので報告する。

方法及び取組み 1. 個別支援（1）

- ◆対象者把握
生活保護申請時等に薬物の使用歴があれば、生活保護担当者より案内
- ◆専任の保健師による個別面談
月1～2回面談を実施
 - ・食事・睡眠等の生活状況、生活全体の困りごと等の相談
 - ・SMARPP等を引用した「西成リカバリーだより」の読合せ

基礎の作り直し

「基礎」が崩れると、建物は倒壊します。基礎が揺らぐと、建物は揺らぎます。基礎が固まると、建物は安定します。

基礎の作り直しは、建物の安全を守るための大切な作業です。基礎が揺らぐと、建物の安全が脅かされます。基礎が固まると、建物の安全が保たれます。

基礎の作り直しは、建物の安全を守るための大切な作業です。基礎が揺らぐと、建物の安全が脅かされます。基礎が固まると、建物の安全が保たれます。

基礎の作り直し

基礎の作り直し	基礎の作り直し
基礎の作り直し	基礎の作り直し

基礎の作り直しは、建物の安全を守るための大切な作業です。基礎が揺らぐと、建物の安全が脅かされます。基礎が固まると、建物の安全が保たれます。

方法及び取組み

1. 個別支援（2）

◆グループミーティング・専門相談

- ・依存症専門相談員によるグループミーティング
- ・回復施設・自助グループ等を紹介するミニ講座
- ・依存症専門相談員による専門相談



基礎の作り直し

基礎の作り直しは、建物の安全を守るための大切な作業です。基礎が揺らぐと、建物の安全が脅かされます。基礎が固まると、建物の安全が保たれます。

基礎の作り直しは、建物の安全を守るための大切な作業です。基礎が揺らぐと、建物の安全が脅かされます。基礎が固まると、建物の安全が保たれます。

表彰状

あなたは自らの障害を認識され、薬物のいらない生活を目指し、ミーティングと講座に、二十四回参加されました。ここにあなたの一日一日の積み重ねをともに喜び、表彰いたします。

令和六年七月十九日

西成区保健福祉センターへ



方法及び取組み 2. 普及啓発

◆ 支援者向け講演会



高齢者生活の多岐から回復への支援
回復への支援

「高齢者生活の多岐から回復への支援」
「回復への支援」

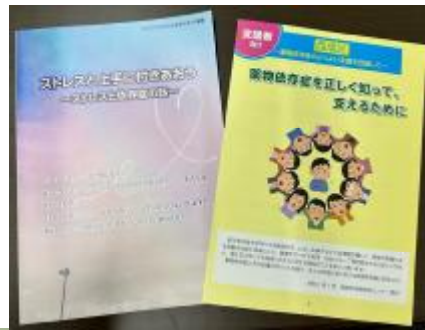
10月11日 11:30-13:30
10月25日 13:30-16:00

会場：高松市立生涯学習センター

お問い合わせ：02-6659-9058

方法及び取組み 2. 普及啓発

◆ 依存症啓発リーフレット等の作成



結果

◆ 個別支援

平成28年～令和4年の新規登録者235名
 転出・連絡不能等63名
 安定終了・継続支援者172名
 ➔断薬に向けた継続支援を受けた割合73.2%

◆ 普及啓発(平成29年度から支援者向け講演会を実施) 参加者数延413名

考察

- ◆個別面談は、安心して他者に相談し断薬を意識する場として定着
- ◆グループミーティングは集まることへの抵抗感が強い者も多く、参加率は低迷している。



回復において、安心してつながる人や場所が必要であり、身近な行政機関が本事業を継続する意義は大きい

まとめ

- ①区役所内の他部署（生活保護担当等）と連携
 - ➡支援を継続できる体制の構築が図ることができる
- ②普及啓発の役割
 - ➡周囲の支援者とも包括的な連携が必要